

(別紙2-1)

令和4年4月28日

二本松市議会議長 様

会派名 市政会  
代表者名 安齋政保

### 視察・研修報告書

当会派において、下記により視察（研修）を（に）実施（参加）しましたので報告いたします。

記

1 期間 令和4年4月 / 日 ( ) ~ 月 日 ( )

2 参加者 ① 安齋政保 ② 小野利美  
③ 熊田義春 ④ .....  
⑤ ..... ⑥ .....

3 視察（開催）地及び視察（研修）内容

別紙のとおり



視 察 ・ 研 修 報 告 書

会 派 中政会  
氏 名 安齋政保

○ 月 日 令和4年 4月 / 日 (~ 日)

○ 場 所 \_\_\_\_\_

○ 内 容 ① 「コミュニティスクール」について、  
③ 農地の太陽光発電について、

○ 視察・研修の感想

① 「コミュニティスクール」については、まだまだ勉強して、理解する必要があると強く感じました。内容や、将来の学校のあり方、地域との連携のあり方等、また、組織作りの検討が大切。

② 農地の太陽光発電については、複雑な部分があること、理解しづらい点などがわかり、大変良い研修に感じた。また、現地調査では、将来の農地の活用になるのではと感じた。

○ 視察・研修の成果、市政への反映等

※視察・研修の成果、市政に反映するために参考となった事項を記載する。

① コミュニティスクールについては、将来の学校のあり方を、どうするかを考えさせられ、また、児童生徒の減少に対応した、今後の教育の姿、も、多くの市民が参加すべき、時代に入ったのではないかと、思う。

② 遊休農地、耕作放棄地を太陽光発電にかすことにより収入で、固定資産税等、税の納付も考え、いる人も多く、今後、事業者との契約が広がる中で、問題は無いのか、トラブルやリスクはないのか、真剣に取り組むことが必要になってくる。

視 察 ・ 研 修 報 告 書

会 派 市政会  
氏 名 小野利美

○ 月 日 令和4年4月1日 ( ~ 日 )

○ 場 所 市役所、二本松常農ソーラー(株)現地視察

○ 内 容 ①コミュニティ・スクール②太陽光発電について  
(当市における農地の太陽光発電の現状等について)

○ 視察・研修の感想

- ①子どもを育てるのには、大人が頑張らなければいけない。学校運営協議会を創るにあたっては、皆んなの協力が、必要である。子どもを育てる事は、とても良い事である。学校と地域が一緒になると、子どもを育てる事は、とても良い事である。これから特に必要と感じた。
- ②太陽光発電の設置条件や基準等について、とても良い勉強になった。農地の種目や利用条件等についても勉強になった。

○ 視察・研修の成果、市政への反映等

※視察・研修の成果、市政に反映するために参考となった事項を記載する。

- ①福島県は市町村中心で行なわれていたが、今後は県教委が中心に行う必要がある。~~これは~~これは先生が足りない。この点だが、増やすには、どのような事が必要か？ 此からの課題として考える。
- ②常農ソーラーの設置等において、今後の農業が明らかになると感じたが、設置基準や条件については、もっと容易にできるか、提議して行きたい。
- 今後の二本松市における耕作放棄地が減り、新しい農業の事業ができることを感じた。

視 察 ・ 研 修 報 告 書

会 派 市 政 会  
氏 名 熊 田 義 春

○ 月 日 令和4年4月1日(~/日)

○ 場 所 総務常任委員会室、銚谷地内

○ 内 容 ① コミュニティスクール(CS)の概要について  
② 二本松市における農地での太陽光発電について

○ 視察・研修の感想

① コミュニティスクールの目指すものは、地域とともにある学校づくりと  
学校を核とした地域づくりを併せて実現することである。

② 農地における太陽光発電について、農地法の枠組みを  
体系的に学ぶことができた。

○ 視察・研修の成果、市政への反映等

※視察・研修の成果、市政に反映するために参考となった事項を記載する。

① 学校運営協議会の設置を教育委員会に努力義務とする法改正  
が平成29年4月から施行されたことから、本市として市内全  
の小、中学校において一層早く設置に向けた取り組みを  
するべきと考える。

② 農業所得の向上が見込まれる点と遊休農地の解消も  
期待できることもあり、ただただ農地を荒すよりは再利用  
することができれば、今後の検討すべき課題となる  
と思います。